

市民の**生活**が**第一**!



小形かおり議員

もっと 暮らしやすい 札幌市に

市議会で要求・提案しました

国保料軽減制度拡充、 さらに引き下げ求める

「札幌市の国保料は高い」と、市長も認めています。それなら、払える国保料にして、市民負担を軽減すべきです。

札幌市では一般会計から国保会計へ繰り入れしていますが、繰り入れ金は4年連続、平均して47億円も余しています。その分を国保料の引き下げに使えば、1世帯1万円の引き下げが十分可能です。

共産党市議団はこれらを指摘し、「国保料引き下げを政治決断すべき。国保料が高いから、払いきれず滞納者が生まれるのであり、保険証の取り上げはやめるべきだ」と、強く要求しました。

フリースクール支援の 充実求める

市は、3年前からフリースクールへの補助を行っています。生徒総数が8名以下の場合160万円、9名以上の場合200万円という規準のみです。共産党市議団は、15人以上の場合などにも段階を設けるべきとし、既存の施設へも人件費や施設維持などの補助拡大、支援制度の拡充を求めました。

市は「当面は生徒数の推移を注視したい」としつつも、「制度の充実を含めて（補助拡大を）検討していきたい」と前向きな答弁をしました。

危険な“空き家”の対策急げ

老朽化した廃屋が一軒でもあると、雑草の繁茂、ごみの不法投棄、動物のすみかとなり、防犯、そして倒壊の危険など、地域の重大問題となります。

“空き家対策”の新たな法律と条例の制定が急がれます。市は、担当部署をつくり実態調査と対策、条例制定の検討もすすめると答弁しました。

学童保育の充実を

学童保育指導員について、国は“児童の遊びを指導する者”とし、指導員全員には資格を求めています。低すぎる基準をあらため、教員や養護教諭、保育士などの資格を持っている専門職員を配置すべきです。また、長年の実績を認められた方などを指導員としていくことが、“保育の質”を確保する上でも非常に重要であり、現在の指導員は条例化後も全員雇用するよう求めました。

市は、「指導員の資格には専門性が必要。国のガイドラインを参考に体制をつくる」と答弁しました。

中島体育センター なくさないで

中島体育センターは年間10万人以上が利用していますが、新中央体育館の建設後に施設の廃止が検討されています。

共産党市議団は、市のパブリックコメント（意見公募）では、125件中124件が存続を求めており、「廃止する理由はない」と存続を求めました。

市は、多くの利用者がいるという認識を示し、「利用者の動向などを判断し、検討したい」と答弁しました。



坂本きょう子議員



伊藤りち子議員



宮川じゅん議員



井上ひさ子議員

水道管の耐震化すすめよ

札幌市の水道管5,882キロメートルのうち、耐震性の水道管は1,163キロメートル。災害時基幹病院（13カ所）につながる水道管は耐震化が完了しており、救急告示病院や人工透析を実施している病院の一部にも耐震水道管が使用されています。

共産党市議団は、「すべての救急告示病院と透析病院、小中学校などの避難所への水道管を耐震化すべき。近隣住民に水を供給できる蛇口の設置を」と求めました。

市は「耐震化を加速させる。医療機関と意見交換できる機会に、御指摘を伝えたい」と答えました。

世界から信頼される街に

アンネの日記が破られたり、ヘイトスピーチが起きたりと、日本の国際的信用をおとしめる事件が相次いでいます。

“誰もが住みたくなる国際都市”を掲げている札幌市ですが、人種や民族の差別を許さず、誰もが安心して過ごすことができる、国際友好都市であるということを宣言するように求めました。

市は「人権の大切さについて啓発を進めていく」と答えました。

第1・2回定例会での意見書・陳情に対する各党の態度

主な意見書・陳情名	結果	共産	自民	民主	公明	ネット	改革	みんな	無所属
「消費税率10%」実施の中止を求める意見書	否決	○	×	○	×	○	○	×	—
集団的自衛権の行使に関する憲法解釈を変更することに反対する意見書	否決	○	×	○	×	○	○	×	—
TPP 交渉からの即時撤退を求める意見書	否決	○	×	○	×	○	○	×	—
特定秘密保護法の廃止を求める意見書	否決	○	×	○	×	○	○	×	—
エネルギー基本計画の撤廃を求める意見書	否決	○	×	○	×	○	○	×	—
取り調べの速やかな全面可視化(全過程の録音録画)を求める意見書	可決	○	×	○	○	○	○	○	×
沖縄普天間飛行場の辺野古への移設計画の撤回を求める意見書	否決	○	×	○	×	○	○	×	×
福祉灯油・あったか応援資金等の実施を求める陳情	不採択	○	×	×	×	×	○	×	×

※無所属の議員1名が、第2回定例会より自民党・市民会議所属となりました。

えん罪をゆるさない

取り調べの全面可視化を求める意見書が採択されました！

外部からの検証がされず、その合法性に常に疑問が寄せられる警察の取調べについて、いくつかの再審決定をみた今日、その可視化を求める意見書採択が実ったことは、人権擁護の歩みを進めるものとして心強く受けとめています。

日本国民救援会北海道本部会長
守屋 敬正さん

学校施設への防災機能、早急に整備を

新潟県の宮内中学校は、2004年に起こった中越地震での経験を生かし、体育館横には高齢者等に配慮した畳敷きの武道場を設置し、炊き出しがしやすいように体育館前に広いスペースを確保するなど、地域の避難所として考えられた学校になっています。

「札幌市でも今後、学校を建て替える場合は宮内中学校に学んで整備すべき」と求めたのに対し、市は「体育館を建て替える場合は、格技場と内部に備蓄倉庫を設置し、トイレも整備する。救護、休憩、更衣、授乳の必要性等に応じて配慮スペースを確保する」と答弁しました。

平和にまさる市民福祉はない （「札幌市平和都市宣言」より）

共産党市議団が求めた「札幌市平和バーチャル資料館※に、札幌市在住の被爆体験者の動画を掲載すること」が今回実現しました。

市では近年、小中学生数名を「札幌市平和訪問団」として派遣しています。今年度は長崎市へ訪問団を派遣し、以降は沖縄県と長崎県を隔年ごとに訪問することを検討すると答弁しました。

※札幌市のホームページで、戦争の惨禍と平和の大切さを伝えている。
札幌市平和バーチャル資料館ホームページ

<http://www.city.sapporo.jp/ncms/shimin/heiwa/>

“福祉の増進”こそ自治体の使命

日本共産党
札幌市議団

官製ワーキングプアなくせ！

—市が賃金・働く環境改善へ動きだす

「何年働いても時給は最低賃金のまま」（清掃業務）など、市が発注する工事や委託業務での低賃金、官製ワーキングプアの解消へ全力をあげています。

賃金を改善するための実態調査を求め、市は、工事



清掃労働者から話を聞く(左から)
伊藤、井上両市議

関係約800社と清掃・警備関係約300社に賃上げを要請し、労働環境調査を清掃、警備、ボイラー、ごみ収集などにも広げることが明らかにしました。また、賃金を評価点に加えた総合評価方式※の導入を訴え、市は「清掃業務から導入する方向で準備」と答弁しました。

賃金を改善するための実態調査を求め、市は、工事関係約800社と清掃・警備関係約300社に賃上げを要請し、労働環境調査を清掃、警備、ボイラー、ごみ収集などにも広げることが明らかにしました。また、賃金を評価点に加えた総合評価方式※の導入を訴え、市は「清掃業務から導入する方向で準備」と答弁しました。

※ 総合評価方式とは、価格に加えて、技術内容や周辺環境への配慮、地域への貢献度、賃金などを総合的に評価して契約者を決定する入札方式のこと。

“高架下では保育の質守れない”

—市政懇談会で要望など次々

市政懇談会（2月13日）に、福祉や医療、保育、業者団体などから多数の参加がありました。



様々な団体、個人が参加し熱心に懇談

「高架下に保育所が作られているが、これでは保育の質は守れない」「生活保護の申請用紙を市民の目に見える窓口へ」「中小零細業者への支援を」「地元発注を増やしてほしい」などの意見や要望が出されました。

共産党市議団は、これらの意見を議会活動でとりあげて実現をめざしています。

冬の北海道で暖房は命に

かかる問題 —「福祉灯油」の願いに
自民、民主、公明、ネットが背

「節約のためにお風呂を週2回から1回に減らした」「灯油代を浮かすためにスーパーや病院で一日過ごす」—「福祉灯油」の実施を求める陳情に、共産党市議団は、道内全市町村の約9割が実施していることを示し、「冬の厳しい寒さが続く北海道で、暖房は命にかかわる問題」と賛成しました。しかし、自民党、民主党、公明党、市民ネットが反対し不採択となりました。



市民から「福祉灯油」実施の要望を
うける（党市議団控室）

上田市長と日本軍「慰安婦」

問題で懇談 —「河野談話」見直しに
“怒りおぼえる”

日本共産党北海道委員会の青山慶二委員長と札幌市議団が5月13日、上田文雄市長と日本軍「慰安婦」問題で懇談しました。

「歴史の偽造は許されない—『河野談話』と日本軍『慰安婦』問題の真実」（共産党発行のパンフレット）を上田市長へ進呈。「『河野談話』の見直しや解釈改憲の動きにかつてない批判が上がっています」というと、上田市長は「談話」の見直しに「怒りさえおぼえる」、憲法の「解釈がコロコロ変わると外国の信頼も失う。共闘させていただきたい」とのべました。



（前列左から）坂本、小形両市議、青山委員長
井上、宮川、伊藤の各市議

あなたの
声を
議会に
届けます。

ご相談は日本共産党札幌市議団と各市政事務所に

日本共産党札幌市議団
札幌市中央区北1条西2丁目
札幌市役所内
TEL 211-3221/FAX 218-5124



（中央区）
小形かおり

中央区南5条西10丁目

☎520-2272



（白石区）
伊藤りち子

白石区平和通3丁目
北5-1

☎864-2580



（北区）
坂本きょう子

北区北23条西3丁目
2-55

☎738-9550



（東区）
宮川じゅん

東区東苗穂6条3丁目3
-1 喫茶赤れんが2階

☎783-5466



（手稲区）
井上ひさ子

手稲区前田4条11丁目
9-25

☎684-4533